

山口大学医学部附属病院・看護部 新人看護職員育成計画 ※本計画の到達目標や夜勤に入るための基準、勤務計画等はあくまでも目安のため、部署の特殊性や状況等に合わせて計画する

- 年間目標： ① 社会人として・組織の一員として・看護専門職として、患者・家族・関係職種から信頼される態度を身につけ、状況に応じた行動をとることができる。  
 ② 基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践することができる。  
 ③ 部署特有な患者看護に必要な知識・技術を習得し、休日日勤および夜勤業務、検査・診療の補助業務等を、必要に応じて助言を受けながら、独り立ちして従事することができる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
到達目標	社会人として	・社会人としての基本姿勢(社会人基礎力の3つの力※)を知り、身につける ※①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力 ・食生活の管理、健康管理ができる ・タイムマネジメントの必要性について知り、実践する	・仕事と生活にメリハリがつけられる ・責任をもってタイムマネジメントできる	・自己の役割を認識し体調管理できる ・優先順位を考えてタイムマネジメントできる		・仕事以外の時間を有意義に過ごせる							・社会人基礎力を評価し、今後の課題を明確にできる ・自己の体調管理・タイムマネジメントに責任が持てる	
	組織の一員として	・病院および看護部の理念・基本方針を知る ・病院の施設・設備を知る ・所属部署の環境に慣れる ・職場のスタッフとコミュニケーションがとれる	・誰に何を相談すればよいかわかる ・適切に報告・連絡・相談ができる			・メンバーシップを理解する ・職場内の人たちと関係を調整できる			・チームメンバーとしての役割を果たすことができる ・関係職種の役割が理解できる				・病院および看護部の理念を実現することを考えることができる	
	看護専門職として	・看護専門職者として主体的に学ぶ姿勢を考え、学びを深める ・看護職者の倫理綱領を知る	・自己学習・研修での学び→実践・経験→振り返り→概念化→実践のサイクルを回せる ・看護職者の倫理綱領を踏まえた行動をとれる											・主体的学習者として1年を振り返り、今後の課題を明確にできる(自己の成長について語れる)
	看護業務	・所属部署の1日の業務の流れを把握する ・所属部署の入院患者の疾患・看護の特徴を理解する ・指導を受けながら日勤帯で軽症の担当患者を少人数(1-3人程度)担当する ・観察したことを記録できる	・指導を受けながら日勤帯で担当患者(重症患者以外)を複数人(2-3人)担当する ・指導を得ながら部署特有の検査・処置・手術を受ける患者を担当でき、実施したことを記録できる ・指導を受けながら基本的な看護技術※を実施できる ※研修計画に則った看護技術の実施ルールに基づき実施する ・担当患者に必要なケア・処置等を把握・実施でき、実践したことを看護記録できる	・複数の患者を担当し、患者のスケジュールの優先順位を考えて主体的に実施できる (以下は指導を受けながら) ・予定入院患者の対応ができる ・受け持ち患者を1-2名担当する ・受け持ち患者の全体像を捉え、看護展開できる ・受け持ち患者のニーズに沿った看護展開ができたかを振り返ることができる ・受け持ち患者の看護要約を記載できる			・指導のもと重症患者や急変時の対応を経験(見学)する ・習得した看護技術を一人で実施できる ・未経験の看護技術を自ら表明し、積極的に経験できるよう努力できる ・担当患者のカンファレンスに参加し、意見交換できる ・指導のもと緊急入院の対応が経験できる			・到達目標に達していない項目を振り返り、到達に向けて取り組むことができる ・所属部署での特殊な看護処置や検査、看護業務(外来業務を含む)を指導を受けながら経験する				・経験から学んだことを振り返り、次の看護実践に活かせる ・支援を受けながら、日勤で重症患者の看護ができる ・支援を受けながら原理原則に基づいた看護実践ができる
勤務計画	全般	・研修期間と考え時間外勤務は避ける												
	休日日勤		・プラスで休日日勤ができる			・プラスなしの休日日勤ができる							・支援を受けながら定められた休日日勤業務ができる	
	夜勤	・シャドウで夜勤を1-2回/月程度、経験して、夜勤業務の流れを把握する 【夜勤シャドウの目的】 ①夜勤帯の職場の見学、②夜勤患者の生活を知る ③夜勤メンバーの役割を知る、④夜勤をする自身の生活をイメージできる		・+1の夜勤を経験し、夜勤業務の流れを理解できる			・+1なしの夜勤開始						・支援を受けながら定められた夜勤業務ができる	
夜勤に従事するための基準	・スタンダードプロシージャを理解し、実施できる ・バイタルサインを測定できる ・患者・家族とコミュニケーションがとれる ・わからないことを質問できる ・ナースコールの対応ができる ・固定電話対応ができる(電話に出る・名乗る・要件をメモする・他者に要件を伝える/つなく) ・体調管理ができる	・24時間の継続した看護を考え、患者と関わることができる ・指導を受けながらバイタルサイン・観察結果から、アセスメント、報告・連絡・相談ができる ・研修で学んだ看護技術を経験し、指導を受けながら実施できる	・部署特有の看護技術・処置を経験し、支援を受けながら実施できる ・夜勤業務の概要を理解している		・コードブルー・RRSを起動する方法を知っている ・火災発生時の対応を知っている ・緊急の電話対応ができる	・部署特有の疾患の正常と異常がわかり、報告・連絡・相談できる ・夜間巡視時に観察すべきことを理解し、患者の安全を考えた夜間巡視ができる								
研修※	知識中心の研修(一部演習含)	・入職時オリエンテーション・入職時研修(別途計画) ・医療安全に関する研修Ⅰ ・褥瘡予防ケア、活動と休息の援助、安全な移乗移送 ・酸素吸入療法							・看護に必要な倫理	・逝去時の看護		・医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めようKYT ・人工呼吸器の基礎知識		
	技術演習	・感染対策・清潔操作、輸液ポンプ等の準備と管理 ・吸入・吸引 ・導尿・膀胱留置カテーテル挿入と管理等 ・経管栄養管理 ・フィジカルアセスメントⅠ(講義+演習)			・技術演習：急変対応		・多重課題への対応 ・夜勤の独り立ちに向けて			・フォローアップ研修				
	薬剤・注射に関連した研修	・静脈注射知識Ⅰ ・内服薬・貼付剤・外用薬の知識 ・技術演習：静脈採血、皮内・皮下・筋肉注射	・静脈注射知識Ⅱ(インスリン・麻薬・ハイリスク薬等の知識と管理)		・静脈留置針の挿入1→2技術練習→技術試験		・静脈注射知識Ⅲ(がん薬物療法の知識と管理) ・静脈注射知識Ⅳ(輸血の知識と管理)							
	サポート研修	・社会人基礎力・コミュニケーション(入職時研修中) ・メンタルヘルス		・2か月のふりかえり	・メンタルヘルス		・6か月のふりかえり					・1年のふりかえり		
評価・チェックリスト等の確認	・社会人基礎力		・看護技術チェックリスト				・社会人基礎力 ・看護技術チェックリスト					・社会人基礎力 ・看護技術チェックリスト ・ラダーⅠ評価(〇月までに)		
プリセプター※	3月：プリセプター研修① 新人看護師の特徴・プリセプターの役割を知る		プリセプター研修② 現状や悩みの共有 自己の課題の明確化		プリセプター研修③ 現状や失敗・成功体験の共有 課題達成に向けての計画修正		プリセプター研修④ 役割経験からの学び 自己および新人看護師の成長の共有							
プリセプター会開催目安	3月～4月：部署内での指導方針・計画立案	入職後6か月までは1～2か月に1回				6か月以降は2～4か月に1回								

※研修内容の詳細はクニカルラダー別研修計画を参照

《新人看護師が夜勤に従事する際に考慮すること》

- 新人看護師が部署において業務に携わるにあたり、部署の特殊性(心電図、人工呼吸器の管理等)のため、看護部の新人看護師教育計画の実施内容・時期では不十分な場合、部署の事情や特長性に応じて、部署毎での新人看護師の教育計画を立案・実施・評価する等に対応する。
- 新人看護師が夜勤には入れるかどうか、プラス1なしの夜勤に入れるかどうか等、次に進めるかどうかの判断は、下記の1～③を参考に判断する。
  - 「夜勤に入るための基準」の実践項目および必要な知識を理解し、実践可能かどうか
  - 部署で定めた夜勤に入るまでに必要な教育を受けているか
  - 部署で定めた夜勤に入るまでに必要な看護実践を経験しているか